

体験グローバル 「株式会社中島商店」 講演のアンケート結果

2015年10月23日7時間目に4年生を対象に、株式会社中島商店より中島基晴さんを講師として本校にお招きし講演をしていただきました。

中島さんからは「特産品で地域を元気に!～Bingo Spirits!～」をテーマに、保命酒を核として福山の食品メーカーが手を取って、商品開発を行い、製造・流通・販売を地元企業が行うことで地域の活性化を図る活動についてお話ししていただきました。また、本校の卒業生という立場から、後輩に向けて目指すべき姿についてもお話をいただきました。講演後の生徒のアンケートをまとめると以下のようにになりました。



質問項目

1. 今日の講演は興味・関心をもって聞くことができましたか。
2. 今日の講演は新しい考え方や視点が学べるものでしたか。



自由記述 今回の講演から学んだこと、考えたことを具体的に記述してください。

- 備後地域にも世界に誇れるような名産品があることを知り、少し誇らしく感じました。保命酒のようにアルコールはターゲットを大人にしかできないと思っていたけれど、熱を加えればお菓子に加えたり、ふりかけに加えたりして子どもターゲットにできることは驚かされました。講演から感じたのは「発想力」の大切さです。特産品になるだけの可能性を秘めた産物を、発想の乏しさで埋没させてしまっているものが自分たちの地元にはまだまだあるのではないかと思います。
- 今回の講演で、新製品を世に出すために必要なことをさらに詳しくすることができました。一つは「ひらめき」です。ゼロから新製品を作るのではなく、何かと何かを組み合わせる「ひらめき」で新製品は生まれるということです。そういったことができるようになるためにも頭の中の引き出しを多くしておきたいと思いました。
- 地域の特産品を全国区にするには、それ相応の努力が必要なんだと感じた。多くの人に知ってもらうのならテレビCMをすればいいと思っていたけれど、そうではなく今回のように保命酒がどれだけ歴史のあるものなのかをペリーが飲んだ史実を突き止め、ペリーの子孫の来日を知れば会いに行くなど行動する努力はCM以上の効果があるように感じた。また、地域の特産品を全国区にするには発信源である地域の活性化も不可欠であることを感じました。
- 商品を作ったり、経済の仕組みを考えたりして地域全体に利益が行き渡るようにすること、法律をクリアして商標を登録することなど知識がないと事業を成功させることはできないと思った。地域に貢献するにも、自分の将来の夢を叶えるにも知識は必ず必要になるから、引き出しを多くつくっておきたいと思いました。そして、中島さんが最後に言われていましたが、日ごろの小さな発見を大切にしていきたいと思いました。

○保命酒は知っていたけれど、自分はまだ飲めるものではないので「関係ないもの」と思っていました。でも、話の中でアルコールを飛ばしてお菓子にも利用していることを知って、「自分には関係のないもの・興味のないもの」として決めつけてしまっていたから、そのことに自分は気づけていなかったのだと思いました。物事を自分の思い込みなどで決めつけて関心を払わないのではなく、どんなことにも興味をもっていけるようになりたいと思いました。



○特産品は、単に「このあたりで作っている物」というイメージだったのですが、地域の中で大きな役割を持っていることがわかりました。地域ならではのものをその地域の人作り、その地域の人や多くの人を使う。そのサイクルの中で地域の様々な人に利益がいきわたるといのが特産品の持つ一面であることが講演でよくわかりました。また、「協力し合うモノづくり」という考え方は地域の特産品を作ってきた伝統をこれからも守っていくには大切だと思いました。これから自分たちの地域をより知っていくと同時にそれらをどう守っていくかや、地域の特産品を日本や世界にどう広げていけるか考えていきたいと思いました。

○特産品には地域を大きく変える潜在能力が秘めていることが講演を聞いて強く感じました。しかし、その潜在能力を発揮するためには多くの壁があることも講演を聞いてわかりました。特産品で地域を変えるには特産品を通じて地域の様々な物・分野を巻き込み、Win-winの関係(仕組み)を作ることが大切だとわかりました。その地域にある、あらゆるものを結びつけるには決めつけとかで目を向けないのではなく、可能性をとことん考えることが大切だということもすごく感じました。

○これまで聞かせていただいた講演でもそうだったのですが、やはり小さな努力、地道な改良の積み重ねの先に、日本一や日本や世界に発信できる特産品になることがわかりました。また、中島さんが私たちの先輩として「頭の引き出しを増やせるのがこの高校」といったことを言われました。高校生活の様々な活動を通して物事をいろいろな角度から考えられるようになりたいと思いました。そして、勉強以外のことにも興味関心をもってたくさんの経験を積みたいと思いました。

○地域・社会貢献のために新しい技術や商品を作り出すということも選択肢の一つとして挙げることはできるけれど、今まであったものを現代社会に合うように少しずつ変えたり、今まであったものを新たなものと組み合わせたりすることでそれらがよみがえり、それが地域に貢献することが今回の講演でよくわかりました。地元にある人々の生活に関わる様々なものを考えていくとそれが地域や社会貢献になることが分かって自分の地元のことももう一度見直してみたいと思いました。

○伝統は「守るべきもの」と勝手に思ってしまったけれど、「技」の授業でもあったように、時代に合わせてその技を変化させる必要があることも今回の講演を聞いて改めて思いました。グローバルの言葉がよく使われているように、私たちは、伝統あるものを大切にしながらも、新たなものを生み出していかなければならない世代なのではないのかなと思った。そのためにもたくさんのことを学び、たくさんの視点で物事を考えられたい。

○自分は将来、食品に関係する仕事に就きたいと思っているので、今回の講演はとても参考になりました。どんな職業でも必ず壁にぶち当たるであろう問題に商品開発があると思います。中島商店の商品は地域とのつながりや地域の活性をねらいとした開発でとても勉強になりました。地域とのつながりは大きな力になると思います。そういったことが考えられるようになるためにも「頭の中の引き出しを持っておくこと」という言葉は印象に残りました。様々な分野から得られた知識を自分の将来にもいかせられるようになりたいです。

○今回の講演で一番に思ったことは、「自分の出身地に対する深い理解と、そこから生まれてくる郷土愛」が大切だと思いました。これらが自分の中でしっかり持つことができれば、地元を活性化させるために新しいことや今ある地元の強みをよりよく生かしていけると思いました。今回の講演から、自分ももっと地元について知り、地元の将来についても自分なりに考えてみたいと思いました。地元を活性化させ、世界にもアピールできる魅力的な地元をしたいという思いを強くすることができました。